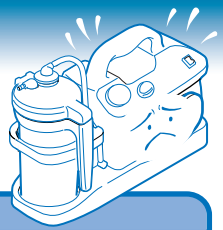
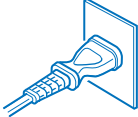
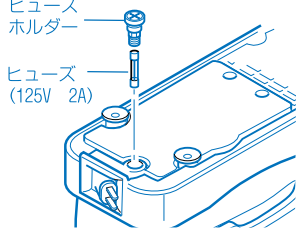
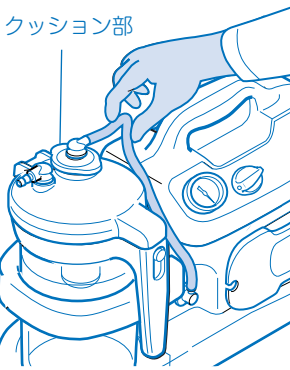
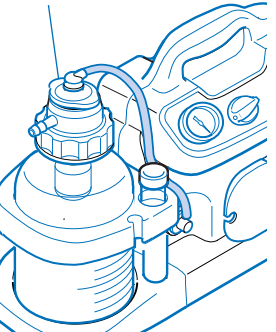



修理を依頼される前に

故障や不調の場合、修理を依頼される前にこの処理を行ってみてください。
正常に作動する場合があります。



症状	原因	処置	
<p>ポンプが作動しない。</p> <p>(電源が入らない)</p> <p>時々ポンプが止まる。</p>	電源コードが外れているか、断線している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードをコンセントに正しく差し込んでください。 ● 断線または断線の疑いがある場合は、コードを動かして症状を確認した後、販売店へご連絡ください。 	
	ヒューズが切れている。 (本体底面にヒューズホルダーがあります)	<ul style="list-style-type: none"> ● ヒューズを確認してください。 ● ヒューズが切れている場合は交換し、再度切れるようでしたら販売店へご連絡してください。 	
	内部(モーター等)の異常が考えられる。	● 販売店へご連絡ください。	
<p>ポンプが作動しても吸引しない。または吸引圧力が弱いとき。</p>	<p>チェックポイント</p> <p>吸引容器の接続ホースを指で折り曲げ、空気を遮断します。強弱ツマミを「強」いっぱいにして回して作動させた時吸引圧力が-75kPa(※)程度まで上がればポンプは正常です。(真空計の針が上がります)</p> <p>※ 初期性能は-85kPaですが、ご使用期間、頻度により性能が低下しますので、-75kPaを目安に判断してください。</p>	<p>クッション部</p> 	<p>クッション部</p> 
	上記のチェックで圧力が正しくないとき、以下の各ポイントを確認してください。		
	吸引容器のパッキンが入っていない。または曲がって組み込まれている。	<ul style="list-style-type: none"> ● パッキンを正しく組み込んでください。 ● パッキンが古くなった時は交換してください。 	
	吸引停止用のフロート弁が作動している。(フロートがフロートストッパーにくっついている)	● フロートとフロートストッパーを引き離してください。	
	吸引停止用のフロートストッパーの向きが逆になって取り付けられている。	<ul style="list-style-type: none"> ● フロートストッパーの向き。 	
	クッション部カバーのOリングが入っていない。または曲がって組み込まれている。	<ul style="list-style-type: none"> ● Oリングを正しく組み込んでください。 ● Oリングが古くなった時は交換してください。 	
	フィルターが汚れている。	● フィルターを交換してください	

お問い合わせ先：